

ブリッツェン

# サバイバル戦 1、2位独占 作戦はまり集団支配

自転車  
JPT第15戦

自転車ロードレースのJプロツアー(JPT)第15戦「維新やまぐちクリテリウム」は28日、山口市役所前の公道特設周回コース(決勝1周1・3キロ×28周=36・4キロ)で行われ、宇都宮ブリッツェンの大久保陣が1位、鈴木譲が2位でゴール、ワンツーフィニッシュを飾った。チームも団体総合首位をキープ。完走者が11人しかないサバイバルレースで異勢は2チーム7人がゴールし存在感を示した。



位に進めた。レース終盤に雷雨で急激な気温が下がったが、そのアシデントにもつきつちり対応、仲間のアシデントを制した。ホンダ栃木はエース川田優作が9

宇都宮ブリッツェンは阿部善之を中心に序盤から積極的にアタックを仕掛け、早めに先頭集団を小さくすることに成功。ラスト10周時点で先頭は8人にまで削られた。このうち5人をブリッツェン勢が占め、レースを優

位と健闘。那須ブライゼン(下島将輝)が粘ったが完走はできなかった。ブリッツェンとブライゼンは9月1日から3日間、北海道で行われる国際レース「ツール・ド・北海道」に出場する。JPT第16戦「タイムトラアルチャンピオンシップ」は11日、栃木市の渡良瀬遊水地で実施される。▽P1(1・3キロ×28周=36・4キロ) ①大久保陣(宇都宮ブリッツェン)54分6秒 ②鈴木譲(同)54分6秒 ③ホセ・ピセンテ(マトリックスパワータグ)54分7秒 ④

「雨天の方がテクニクスの差が出る。自分にとって是有利」。土砂降り。雨こそブリッツェンの大久保陣にとっては「恵みの雨」。エースブライゼンの重責も果たし、「これでチームがもっと勢いづく」と自信をのぞ

かせた。1周1・3キロのコースを動かす積極策に打って出る。次第に先頭集団も削られていき、「やりたい放題できた」。大久保の細かなバイクテクニクと組織力が絶妙にかみ合った。ツアーもいよいよ後半戦。「ステージ優勝はもちろん、個人総合2位につける増田(成幸)さんの優勝に向けて全員で勝ちに行く」とチームにも大久保にも油断はない。(三谷千春)

## 大久保 技術の差、雨も味方

増田成幸(宇都宮ブリッツェン)54分7秒の堀孝明(同)54分13秒 阿部善之(同)54分20秒 川田優作(ホンダ栃木)55分2秒 昇祥平(同)55分10秒 下島将輝(那須ブライゼン)阿部航大(ホシダ) 水野恭兵(那須ブライゼン) 高木三三成(同)新誠銀一(同) 小林宏志(同)飯野智行(宇都宮ブリッツェン)小長谷剛(ホンダ) 栃木 西尾勇人(那須ブライゼン) 岩井航太(同)以上途中棄権

候だったが、大久保陣もエースブライゼンとしての重責をしっかりと果たしてくれた。